

《適性検査型 IP class 選抜入試》 サンプル問題

# 国語型

時間 四十五分

## 受検上の注意

1. 解答用紙に、受検番号・氏名を記入してください。
2. 声を出して読むはいけません。
3. 解答は、解答用紙の所定のところに記入してください。  
方法を誤ると得点になりません。
4. 検査終了後、問題冊子・解答用紙ともに回収します。

郁文館中学校

〔問題は次のページからです〕

① 次の **文章1** と **文章2** を読み、あとの問題に答えなさい。

(\*印の付いている言葉には、本文のあとに「注」があります。)

**文章1**

\*<sup>1</sup>しかしながら、問題の中心と結論に進もう。すなわち、私たちが以外の知的生命が宇宙に存在することを知ったなら、「**1**」において、何かちがいが出てくるのだろうか。私たちの責任について何か変わるのだろうか。私たちがあの重大な仕事をこの地上でやりそこなったとしても、その仕事はほかのところでもっと優れた手によって続けられるのだというので、ひよっとして、私たちは自分自身を慰めることができるようになるのだろうか。この仕事は私たちの肩だけにかかっているわけではないということになるのだろうか。だから、この仕事の私たちに關する部分についてはもっとやりたい放題にやってのけてもよいのだということになるのだろうか。とんでもない！ \*<sup>2</sup>私たちが支配しているこの地上における精神の運命にたいしては、つまり私たちの力の及ぶただひとつの管轄地域にたいしては、ひとり私たちのみが責任をもっているのである。―仮定上の知的存在者がその管轄地域にたいして責任をもつように。どちらも他方の責任を軽減することはできない。どちらも他方を助けることもできない。ア彼らは私たちを、私たちは彼らを助けられない。この意味で、私たちは私たちがきりである！ 私たちによって、私たちのうちに、\*<sup>3</sup>万有のこの部分において、破滅を招きかねない私たちの力をふるっているこの瞬間において、\*<sup>4</sup>神の始めた仕事は天秤のうえでうちふるえている。私たちはそのことを知っている。同じ仕事がどこかほかのところで栄え

ようが、脅かされようが、救われようが、だめになろうが、それが私たちにとって何だというのか。いつか万有のどこかで受け取られるだろう私たちからの信号が死亡通知にならないようにするために、私たちは手を尽くさなくてはならない。私たちの地球の世話をしよう。よそで何が起ころうとも、私たちの運命はこの地上で決せられる。私たちの運命とともに、この場所に結びつけられたかぎりでの\*<sup>5</sup>創造の敢為が私たちの手のなかに陥っている。私たちはそれを世話することも、裏切ることもできるのだ。それゆえ、あたかも万有のなかに、実際、私たちだけしかないかのように、私たちは私たちの運命とこの地上における創造の敢為のことを気づかおう。

(ハンス・ヨナス 品川哲彦訳『アウシュビッツ以後の神』による)

〔注〕

\*<sup>1</sup> しかしながら、問題の中心と結論に進もう―筆者は本文の前の部分で、宇宙に知的生命がいた場合に、人類の孤独感や物事の認識がどのように変わるかについて考察している。

\*<sup>2</sup> 私たちが支配しているこの地上―筆者は、世界をよりよくする力を持ちつつも、あえてその力を使わないことに決めた神はある意味で「無力」なので、知の力をもつ人間には神を助ける義務があると述べている。「支配している」とはこのことをふまえた表現。

\*<sup>3</sup> 万有―宇宙間に存在するすべてのもの。

\*<sup>4</sup> 神の始めた仕事―神が世界(人間を含む)を創造したこと。

\*<sup>5</sup> 創造の敢為―神がみずから創造した世界の将来をあえて世界自身(人間を含む)に任せしたこと。

## 文章2

この\*1森の宗教の思想について、私は長い間いろいろ考えてきたのですが、結局、森の宗教の思想は、生きとし生けるものはすべて共通の生命で生きている、そして生きとし生けるものはすべて成仏することができるといふ考え方だと、最近思うようになりました。

動物も植物も、山や川すら成仏できる。そして成仏するばかりでなく、生きとし生けるものはすべて生死の間を循環している。生きとし生けるものはすべて死ぬ、そしてまた生き返るのです。どのようにして生き返るかという点、また子孫になって生き返ってくる。昆虫は一年生きていればつぎの年に死んで、またつぎの子孫が生まれてくる。トンボもセミもそうですね。人間だって同じことなのです。みんな生きとし生けるものは、生と死の間を循環している。

われわれは死ぬと肉体から魂が離れる。そして魂はあの世―たぶん山の上か空の上でしょうね―へ行って、しばらくあの世にとどまっておいて、一足先にあの世にきている先祖さんと一緒に過ごします。よく聞いてくださいよ、私ももうすぐあの世へいかんねらん(笑)、あの世には一足先にいった私のお父さんやお母さんがいる、会いたいですね。そのほかにも会いたい人がいっぱいいます。あの世というのは悪いところではない。そこにしばらくいる。そしてお盆やお彼岸に、この世にちよつと帰ってくる。だいたいそれは三日間くらいです。あまり長い間、滞在すると迷惑がかりますから、三日であの世に帰るのが礼儀です(笑)。そして、いつの日か、今度は子孫になって生まれ

変わってくるのです。それが日本人の信仰です。

だから、老年期というのは、つぎに生き返ってくるための準備期間なのです。ですからわれわれは良く年をとらなければなりません。このときに心が曲がっていると、なかなか生まれ変わってこられません(笑)。

地球の資源を使い果たして、木をどんどん伐ってしまつて、ひどい状態にして死んだら、今度、生まれ変わってきたときには、もう地球は住めない状態になっているでしょう。そういうことは絶対にさげなればいけない。そういうふうにするものごとは循環しているのです。

こういう考え方を\*2芭蕉は「\*3月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人なり」と表現したわけです。芭蕉は日本人の世界観をよく知っていた。月日も星も宇宙も旅人だ、そしてみんな「ii」の精神を伝えていくのだという考え方です。太陽もそうです。太陽も一度、死ぬのですね。そして朝になると生き返る。だから、太陽は神であり、われわれは朝日を拝むのです。これは旧石器時代以来の人類の世界観でもあった。

ところが、いまはどうか。世界は急激に自然環境を人間の手によつて破壊している。たとえばいまヨーロッパで一番大きな問題は「森の死」です。ドイツのシュバルツバルト(黒い森)は五〇パーセント死滅した。そしてこの死滅はまだ進行中である。その原因は、排気ガスあるいは酸性雨です。いまドイツは東西が統一して喜んでいますが、ドイツの作家、\*4ミヒャエル・エンデは、経済力が増せばドイツの

環境破壊はますます進むのではないか、そしてそれはやがて地球の死にいたるのではないか、と警告しています。私もエンデの意見に賛同です。

最近、私はカナダへ行きました。カナダでは大きな木の切り株があちこちで見られます。イこれは、百年以上前に、白人によって伐られた木の切り株です。先住民が何千年も大事にしてきた自然が、またたく間に破壊されました。いま、カナダ政府は自分たちのやり方が間違っていたことを認めています。そしてすべてのものが自然のなかで循環していくという、先住民の思想に学ぼうとしています。

そして、森の文明の考え方の基本は、「生命はひとつだ」ということです。じつはこのことは高度に発達した自然科学によって証明されています。現代の生化学は、最後にDNAを発見したわけですが、DNAは人間にも動物にも植物にも共通にあることがわかった。これは生命はひとつだということのなよりの証明です。旧石器時代以来の考え方が科学的に実証されたのです。人間は生死をくり返す、そして個体は死ぬけれども、遺伝子は永遠に生き残るのです。それが人間の\*<sub>5</sub>永生<sup>えいせい</sup>なのです。人間の永生を遺伝子科学が証明したわけですね。そういうふうになると、植物や動物の命を尊敬して天地自然を尊敬する、そしてその天地自然や動植物と調和して生きていく、共生する方法をわれわれは考えなければならぬのです。それが人類の智恵<sup>ちえ</sup>である、というふうには思わざるをえない。

人間は動物や植物を殺さなくては生きていけない面があります。木

は信仰の対象だけではなくて人間に最も役に立つものである。だから木を伐るにせよ、動物の命を奪うにせよ、われわれと同じ命をもった木を、そして動物を殺すわけですから、その木や動物の霊<sup>れい</sup>を手厚くあの世に送らなければならぬのです。霊をあの世に返さなければならぬのです。そしてまた木や動物たちにこの世に帰ってきてもらわなければならない。私は、こういう宗教を今こそとりもどさなければならないと考えるのです。

(梅原猛『「新版」森の思想が人類を救う』による)

〔注〕

\*<sub>1</sub> 森の宗教 — 筆者は、日本の宗教は「森の宗教」につながると考えている。

\*<sub>2</sub> 芭蕉 — 松尾芭蕉(一六四四〜一六九四)。江戸時代前期の俳諧師<sup>はいかいし</sup>。

\*<sub>3</sub> 月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人なり — 『おくのほそ道』冒頭の一節。「月日は永遠の旅人であり、やってきては過ぎていく年もまた旅人である」という意味。

\*<sub>4</sub> ミヒヤエル・エンゲ — ドイツの作家(一九二九〜一九九五)。

\*<sub>5</sub> 永生 — 永遠の生命のこと。

〔問題1〕

空らん **i** に当てはまる語として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- A 政治面、 B 道徳面、 C 衛生面、 D 学習面、

〔問題2〕

ア彼らは何を指していますか、**文章1** から抜き出して答えなさい。

〔問題3〕

空らん **ii** に当てはまる語として最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- A 自然、 B 旅人、 C 先住民、 D 永遠

〔問題4〕

イこれは何を指していますか、**文章2** の言葉を使って（抜き出しではありません）二十一字で答えなさい。（、や。を使つてはいけません。）

〔問題5〕

**文章1** **文章2** の主張について、(1)(2)に答えなさい。

(1) 二つの文章に共通する主張は何ですか。次の文の空らん  
に当てはまる語を **文章1** から抜き出して答えなさい。

「**文章1**」を**文章2**にするべきだ。

(2) 二つの文章とも、(1)のように主張する点は同じですが、  
考え方には異なる点があります。考え方の違いが分かる  
ように、**文章1** **文章2** の主張をそれぞれ80字以内  
でまとめなさい。（、や。も字数に数えます。）

② 次の文章と図を読み取って、あとの問題に答えなさい。(＊印の付いている言葉には、本文のあとに「注」があります。)

第2章でみたように、現代の若者について＊1古市は、雇用や家族や＊2社会保障など、どれをとつても将来展望は明るくないのに、ポジティブな感情をもって日々を生きている、と述べています。深刻な実情を理解していながら、それでも自分たちは不幸だとは感じていないという、他世代からみると不可解な若者の状態、それが「絶望の国の幸福な若者たち」です。

アこれは現代日本の現役世代の心の状態についての、有力な仮説だとみることができません。

それでは、＊3「8人」の拡大若者たちのうちで、とりわけポジティブな感情が高いのは、あるいは低いのは、いったいだれなのでしょう。まずこのことから調べてみましょう。

ポジティブな感情は、もともとは快や充足や活力の感情をさす心理学の専門用語です。心の状態がよいという意味で、「主観的＊4ウェルビーイング」といわれることもあります。これは現代人にさまざまなプラスの作用をもつ心理的要因として、社会心理学、疫学・公衆衛生、経済学などでも近年注目されています。

ここでは、人びとの心の状態を多面的にみるために、「階層帰属意識」「生活満足度」「幸福感」「主観的自由」という4つの主体性の側面を指標とします。詳細はここでは述べませんが、いずれも背後に社会

学の理論を背負った概念です(数土編著 2018)。

#### 階層帰属意識

「仮に現在の日本社会全体を、このリストに書いてあるように1から10までの層に分けるとすれば、あなたは自身はどれに入ると思えますか」という問いに対する回答。

#### 生活満足度

「あなたは生活全般についてどの程度満足していますか」という問いに対する「満足している」から「不満である」までの＊5件法による回答。

#### 幸福感

「現在、あなたはどの程度幸せですか」という問いに対する11点の＊6スケール提示による回答。

#### 主観的自由

「私の生き方は、おもに自分の考えで自由に決められる」という意見に対する「よくあてはまる」から「まったくあてはまらない」までの5件法による回答。

#### 〔中略〕

グラフの面積と形状をみることによって、「8人」のメンバーの「社会の心」の縮み、膨らみ、歪み、偏りなどがみえてきます。各グラフの右上には、総合得点(4指標の＊7ゼロ次得点の算術平均)を示しています。すでにおわかりのとおり、これは、塾や予備校などの学力テストの成績について、各科目の偏差値得点や総合成績をみるのと同じやり方です。

ここでは同一の平面に2種類のグラフが示されています。面が表示されているのは各指標のゼロ次得点、すなわち社会の表面に表れているその\*8トピックの状態です。このグラフの大きさとかたちによって、実態としての社会意識の姿を知ることができます。

他方、\*9鎖線で示しているのは、経済力、職業、家族構成、居住地が回答に及ぼしている影響力を考慮したうえでの数値（推定周辺平均）で、8つの\*10セグメントすべてについて、世帯年収（等価所得対数値）、職業（\*11威信スコア）が全体の平均値で、政令指定都市に在住し、配偶者がいるという同一の条件に揃えたとした場合の得点です。

鎖線と面グラフの\*12差分からは、  
「  
」  
i  
」  
を知ることができます。結果の読み解きは、一般化線形モデルの多重比較の結果に基づいて行ないます。

それではグラフを読み解いていきましょう。

図からまずわかることは、「  
」  
ii  
」  
という学歴分断傾向です。ただし、やや意外なのは、前章の結果から類推すれば、壮年大卒男性が「一人勝ち」の状態になってもおかしくないのに、そうはなっていないということです。これは若年・壮年の大卒女性の心の状態が、壮年大卒男性と同等レベルに良好であるためです。

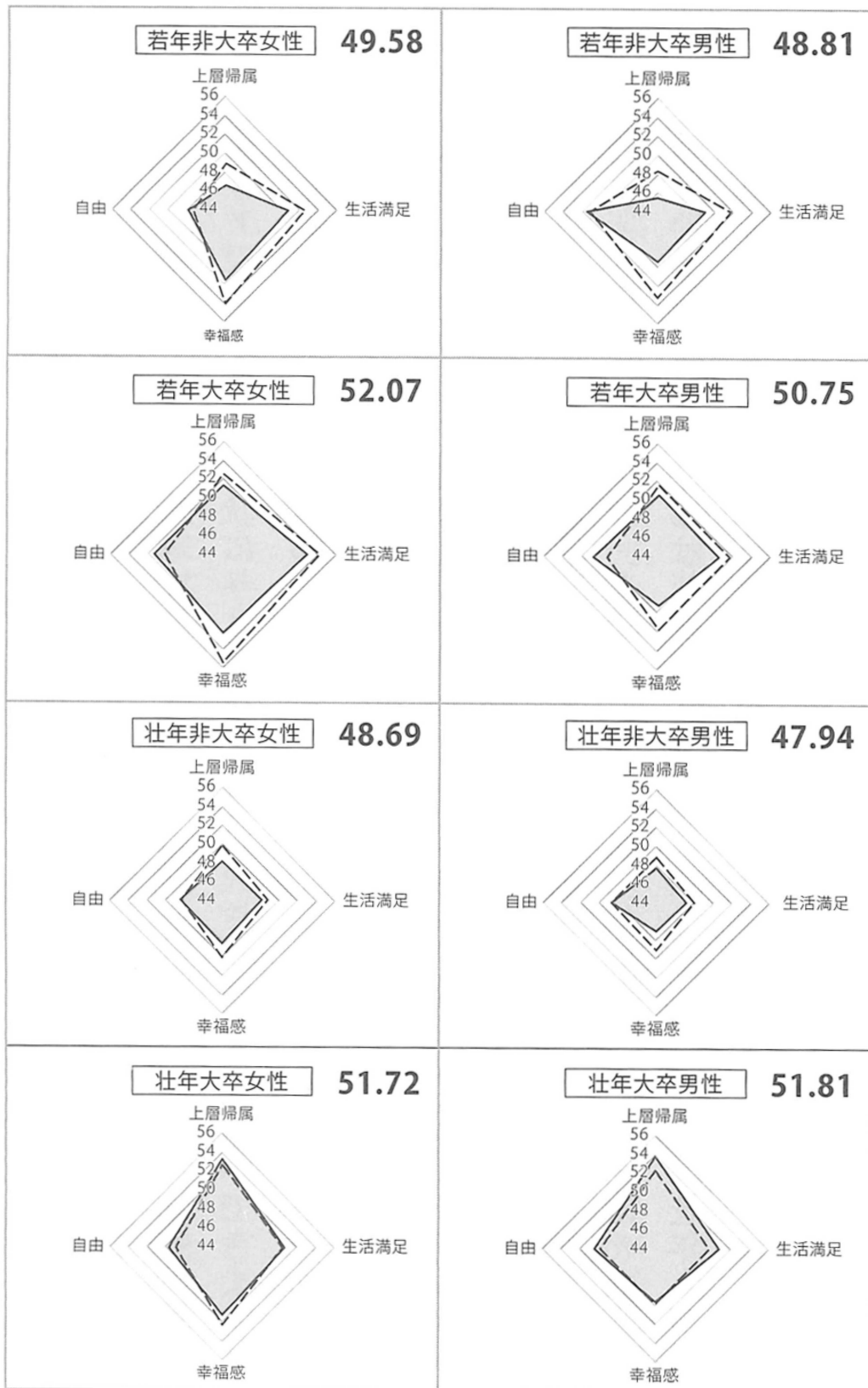
（吉川徹『日本の分断 切り離される非大卒若者たち』による）

〔注〕

- \*1 古市—古市憲寿（一九八五）。社会学者。
- \*2 社会保障—「保険」や「福祉」など、人々の生活を守る仕組み。
- \*3 「8人」の拡大若者—図に示される「若年非大卒男性」「若年非大卒女性」「若年大卒男性」「若年大卒女性」「壮年非大卒男性」「壮年非大卒女性」「壮年大卒男性」「壮年大卒女性」のこと。ここの「若年」は20〜30代、「壮年」は40〜50代を指すが、筆者は現役世代（若年と壮年）を合わせて「拡大若者」としている。
- \*4 ウェルビーイング—良好な状態にあること。
- \*5 5件法—5段階の選択肢のある調査。
- \*6 スケール—段階の意味。
- \*7 ゼロ次得点—得点変換していない通常の得点のこと。
- \*8 トピック—題目。ここでは、「階層帰属意識」「生活満足度」「幸福感」「主観的自由」を指す。
- \*9 鎖線—ここでは、———のような線を指す。
- \*10 セグメント—まとめり。
- \*11 威信スコア—職業の社会的評価や価値の高さをスコア化したもの。
- \*12 差分—差のこと。



図 ポジティブ感情のセグメント間比較



データ: SSP2015

〔問題1〕

空らん i ではどのようなことが述べられていると考えられますか。本文を参考にして答えなさい。解答は、空らん当てはまる形式である必要はありません。

〔以下、余白〕

〔問題2〕

空らん ii ではどのようなことが述べられていると考えられますか。本文を参考にして答えなさい。解答は、空らん当てはまる形式である必要はありません。

〔問題3〕

アこれは現代日本の現役世代の心の状態についての、有力な仮説だとみることができます。とありますが、図を参照して考えたとき、この「仮説」は正しいといえますか。あなたの考えを、理由を含めて答えなさい。

〔問題4〕

「若年非大卒女性」と「若年大卒女性」を比べると、鎖線でみた場合でも「若年大卒女性」の方がポジティブ感情が高くなるのはなぜだと考えられますか。あなたの考えを答えなさい。

「このページには問題はありません」